

手術用顕微鏡

仕様書

埼玉県立小児医療センター

1 調達機器及び機器構成

調達機器名 手術用顕微鏡システム 一式

(機器構成)

- 1)手術用顕微鏡 1 式
- 2)光源装置 1 式
- 3)フロアスタンド 1 式
- 4)附属品 1 式

2 性能・特質等の機能に関する要件

1) 手術用顕微鏡

- 1)-1) 明るく鮮明で広い視野が得られる術者用双眼鏡筒と助手用双眼鏡筒、助手用双眼対向鏡筒を備えること。
- 1)-2) 術者用双眼鏡筒と助手用双眼対向鏡筒は接眼レンズ位置を上下に反転させて観察高さを調整する機構を備えること。
- 1)-3) 対物レンズの変更やアダプタの装着を行うことなく、作動距離が 200mm 以下～650mm以上の範囲で可変出来ること。
- 1)-4) 術者作業距離を有効に確保するため鏡体長 100mm以下であること。
- 1)-5) 倍率変倍機構はズーム比 1：10 以上の電動式でハンドグリップ又はフットスイッチ制御による変倍調整が出来ること。
また、緊急時のマニュアル操作が出来ること。
- 1)-6) フォーカス機構は、ハンドグリップ又はフットスイッチ制御による電動式でズーム倍率に連動したフォーカス速度自動調整機能が搭載されていること。
また、緊急時のマニュアル操作が出来ること。
- 1)-7) 電動X Y 視野移動が出来ること。

2)光源装置

- 2)-1) 照明は 400Wキセノンランプを使用したファイバーライトガイドによる照明であること。
- 2)-2) 照明は2光路照明を有していること。
- 2)-3) 予備光源装置を有し、ランプ交換はワンタッチで交換が可能であること。
- 2)-4) 照明の輝度が調節可能であること。
- 2)-5) 血流蛍光観察時の照射時間を 30/60/90/120/150 秒の 5 パターンに調整可能であること。
- 2)-6) 顕微鏡が術野に接近した際に照度が自動的に下げる制限機能があること。

- 2)-7) 顕微鏡の倍率に応じた集光機能があること。
- 2)-8) 血流及び腫瘍蛍光観察が可能なシステムを搭載していること。

3)フロアスタンド

- 3)-1) オーバーヘッドが可能なスタンドであること。
- 3)-2) カウンターバランス方式であること。
- 3)-3) バランス調整はオートバランス方式であること。
- 3)-4) 主要関節部の固定の解除は電磁式であること。
- 3)-5) スタンドの移動が容易であること。
- 3)-6) スタンド固定用のストッパーを有すること。
- 3)-7) スタンドの重量は、250 k g 以下で操作性が良いこと。
- 3)-8) 術野の位置の変化に対応可能な十分長いアーム長を有すること。
- 3)-9) 振動防止機構を有し、速やかに振動が3秒以内に静止可能であること。

4)附属品

- 4)-1) カラーカメラの映像信号は HD 方式であること。
- 4)-2) 血流蛍光観察用カメラの映像信号は HD 画質であること。
また、ワンボタンで表示切替が出来る機能を有すること。
- 4)-3) フロアスタンドに 27 型以上の 4K 液晶モニタを搭載出来ること。
- 4)-4) 映像記録装置は HD 記録が可能でカラーカメラ映像及び血流蛍光観察映像を同一記録媒体に記録することが出来ること。
- 4)-5) 映像記録システムは 4K3D ハイビジョン対応であること。

5) その他

- 5)-1 術中血管観察モジュール（ICG）を有すること。
- 5)-2 外部機器の視野内スーパーインポーズ機能を有すること。

3 搬入・設置に関する要件等

1. 設置する場所は「4階 手術室」とする。
2. 物品の搬入、設置及び調整に当たっては、納入場所の担当者の指示を受けること。
なお、搬入車両がある場合は、小児医療センターの地下駐車場を利用すること。
ただし、搬入車両の車高が2.8m以上の場合や1時間以上の駐車時間が見込まれる場合は、あらかじめ駐車方法を相談すること。
3. 物品の搬入、設置および調整に要する経費は落札者の負担とする。
4. 物品の搬入、据付及び調整の上、納入場所の担当者の立会、確認を受けること。
なお、シーリングペンダント等の配線が必要な場合は、事前に管財担当の了承を得ること。
5. 機器設置に伴い必要となる施設改修等に係る費用は、落札者が負担すること。
(電気工事等の改修済み部分を除く。)
6. 納品時に当センターの機器、設備、建築物等に損害を与えた場合は、落札者の責任と費用負担により原状回復させること。
7. 当該物品は、納入検査完了後1年間の品質不良、変質、その他隠された瑕疵について補修、交換、各種調整、トラブル対応に、無償で対応すること。
8. 機器の取扱い、操作方法について、十分な説明、指導を行うこと。
9. 搬入に際し、発生した梱包材料等は、持ち帰ること。
10. 入札機器は原則として入札時点で製品化され、納品する物品は新品であること。
ただし、入札時点で製品化されない物品で応札する場合には、仕様書用件を満たすことが可能な旨の説明及び納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料が必要であること。
11. ソフトウェアは最新版のフル装備のものとし、設置後1年以内におけるバージョンアップに関しては無償で提供すること。

4 納入期限

令和8年2月27日